



## 男の子だけどうして声変わりするの

### 声は声帯をふるわせて出る

声を出す体の器官を「こう頭」といいます。こう頭は、ふつう、のどぶえともよばれています。大人の男の人ののどを外から見ると、飛び出しているところがありますが、これが、のどぶえです。

こののどぶえの内側に声帯があり、左右1対のひだがついています。

声帯は、ふだん、息をしているときは左右にはなれていますが、声を出そうとすると中央に近寄り、はばがせまくなります。ここに息が当たって、声帯がしん動して音が出るのが声です。

### 男の子の思春期に声変わり

男の子は思春期になると、のどの軟骨や声帯に、急に形の変化が起こります。このため高い声と低い声が、まじってしまうようなことが起こります。

この時期がすぎると、声帯が少し長くなり、ゆるむために声が低くなります。これが声変わりです。

女の子は、声帯の長さが少ししか変わらないので、男の子のような目立った声わりはありません。(監修 保志 宏)

